

平成 23 年度 第 13 回石狩市行政評価委員会

日時：平成 23 年 8 月 3 日（水） 9 時 00 分～

場所：市役所 4 階 401 会議室

企画經濟部 企画課

【会議次第】

1 開 会

2 議 題

(1) 行政評価委員会意見【総括】について

4 その他

5 閉 会

平成23年度施策評価シート

第4期石狩市総合計画(戦略計画)における位置付け		1次 評価者 (当該施策 を担当する 部長)	所属	市民生活部
めざすまちのテーマ等	1 安全・安心・快適なまち		職名	部長
施策項目	(3)公共交通環境の充実		氏名	大林 啓二
			TEL	72-3247

【3 成果指標】

	指標の名称					単位	H17実績値	H23目標値
指標1	市内バス路線数					路線	22	22
指標2	路線バスの利用が便利と感じる市民の割合					%	41.1	↗
指標3								
指標4								
	H18実績値	H19実績値	H20実績値	H21実績値	H22実績値	H23目標値に 対する達成状況		H17実績値 との比較
指標1	21	21	21	21	21	×		×
指標2	41.1	41.6	45.8	39.9	36.1	×		×
指標3								
指標4								

○到達、×未達 ○向上、×低下

【6 行政評価委員会意見】 (事務局案)

(1)現状の課題認識に関する意見
<ul style="list-style-type: none"> ・【指標1】「市内バス路線数」について、概ね横ばいで推移していることを確認しました。 【指標2】「路線バスの利用が便利と感じる市民の割合」については減少傾向にあり目標達成に至っていません。減少の要因を分析して取り組む必要があります。 ・本施策では、路線バスの維持対策のほか、厚田・浜益区内において、市有自動車運行やスクールバス混乗、NPO法人による過疎地有償運送事業への支援など多岐にわたる取り組みが行われており、これらが施策の成果にどう結びついているかを表す指標の設定についても検討が必要です。
(2)今後の方向性に関する意見
<ul style="list-style-type: none"> ・市民は、「バスは必要」と認識しているものの、利用されていないのが現状のようです。例えば、各路線の運行状況について広報誌へ掲載するなど、現在の利用実態の周知と利用促進に向けた意識啓発も必要です。 ・バス利用率の向上に向けて「利用しない・利用できない」ことの原因をアンケート等を用いて把握し、必要に応じてその対策を検討する必要があります。
(3)施策等に関する評価意見
<ul style="list-style-type: none"> ・バス利用率の向上を図るため、行政・市民・事業者それぞれの役割を明確にした中で、新たな取り組みを検討し、具体的な方策を示していく必要があります。 ・浜益区においても「あつたライフサポートの会」のような取り組みを展開できるよう、地域への積極的な働きかけが必要です。 ・路線バスの代替交通手段について、現段階からシミュレーションを行うなどして、さまざまな見地から検討を行う必要があります。 <p>【事業に関する指摘事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域生活バス路線運行対策事業 <ul style="list-style-type: none"> ・路線維持に向けて、札幌浜益線への補助の在り方について、利用率、収支見合を注視し、継続して検討していくことが必要です。

平成23年度施策評価シート

第4期石狩市総合計画(戦略計画)における位置付け		1次 評価者 (当該施策 を担当する 部長)	所属	市民生活部
めざすまちのテーマ等	1 安全・安心・快適なまち		職名	部長
施策項目	(3)公共交通環境の充実		氏名	大林 啓二
			TEL	72-3247

委員長メモ

【6 行政評価委員会意見】

(1)現状の課題認識に関する意見
<ul style="list-style-type: none"> ・【指標1】「市内バス路線数」は現状維持、【指標2】「路線バスの利用が便利と感じる市民の割合」は、目標を達成していない。 ・バスは必要と認識しているが、利用していないのが現状。
(2)今後の方向性に関する意見
<ul style="list-style-type: none"> ・バス利用の市民への広報については、広報誌などにより、市民の利用促進を図る必要がある。 ・アンケート等により、「利用しない・利用できない」ことの原因を把握する必要がある。 ・路線維持に向けて、札幌浜益線については、助成の在り方を継続検討すること。
(3)施策等に関する評価意見
<ul style="list-style-type: none"> ・路線バスの代替交通手段の総合的な検討を行うこと。 例えば、「あつたライフサポートの会」のようなNPOの取り組みを浜益区でも展開できるよう働きかけるなど。

平成23年度施策評価シート

第4期石狩市総合計画(戦略計画)における位置付け		1次 評価者 (当該施策 を担当する 部長)	所属	総務部
めざすまちのテーマ等	1 安全・安心・快適なまち		職名	部長
施策項目	(4) 情報通信網の整備		氏名	川又 和雄
			TEL	72-3148

【3 成果指標】

		指標の名称					単位	H17実績値	H23目標値
指標1	ブロードバンドサービス世帯カバー率					%	89.0	☐	
指標2	電子申請利用可能手続数					手続数	6	☐	
指標3									
指標4									
		H18実績値	H19実績値	H20実績値	H21実績値	H22実績値	H23目標値に 対する達成状況	H17実績値 との比較	
指標1		93.8	94.9	96.2	96.2	96.2	○	○	
指標2		6	7	8	8	8	○	○	
指標3									
指標4									

○到達、×未達 ○向上、×低下

【6 行政評価委員会意見】 (事務局案)

(1) 現状の課題認識に関する意見

- ・【指標1】「ブロードバンドサービス世帯カバー率」については、ハード面の整備がほぼ100%に達しており、その取り組みを評価します。
- ・【指標2】「電子申請利用可能手続数」は、法制度や事務手続きの制約がある中でも、引き続きその拡大に向けて取り組んでください。

(2) 今後の方向性に関する意見

- ・情報通信技術を活用した行政サービスの充実は、たとえば地域医療や防災など、具体的なメニューを示した中で取り組む必要があります。同時にその成果を測るための新たな指標の設定も必要です。
- ・一方で、情報通信機器等に依存できない「情報弱者」への情報提供の仕方考えることも重要です。

- ・情報通信基盤の整備はほぼ完了しており、今後はその活用方策が求められます。活用策の検討には、各分野の担当はもとより、専門的知識を有する情報部門のコーディネートが必要です。
- ・短期的にはその計測が難しいものの、一定の費用対効果を見通した取り組みが必要です。

【事業に関する指摘事項】

- 電子自治体推進事業
 - ・環境整備と同時に重要なのはその利用率です。現状では費用対効果が認められるとは言い難く、目標値を設定し、積極的なPRを図るなどその推進に努める必要があります。
 - ・簡易申請機能については、アンケートやイベント申請など、具体的事務を抽出してその活用を促進する必要があります。

平成23年度施策評価シート

第4期石狩市総合計画(戦略計画)における位置付け		1次 評価者 (当該施策 を担当する 部長)	所属	総務部
めざすまちのテーマ等	1 安全・安心・快適なまち		職名	部長
施策項目	(4)情報通信網の整備		氏名	川又 和雄
			TEL	72-3148

委員長メモ

【6 行政評価委員会意見】

(1)現状の課題認識に関する意見

- ・指標「ブロードバンドサービス世帯カバー率」については、評価する。
- ・法的制度を鑑み、慎重に対応して下さい。

(2)今後の方向性に関する意見

- ・総合計画戦略計画の後期見直しにあたって、具体的な施策を掲げて下さい。
- ・市民サービスについて、事業の利活用を具体的事項を掲げて取り組むこと。
- ・情報通信機器等に依存できない場合の情報活用に考慮して下さい。

(3)施策等に関する評価意見

- ・具体的施策(目標)を各施策にも網羅すること。
- ・費用対効果について、効果策を挙げて下さい。
- ・簡易申請機能の活用について、具体的事務を列記して進めて下さい。
- ・総合計画戦略計画の後期見直しにあたって、成果指標の目標値を明確にして下さい。

平成23年度施策評価シート

第4期石狩市総合計画(戦略計画)における位置付け		1次 評価者 (当該施策 を担当する 部長)	所属	保健福祉部健康推進室
めざすまちのテーマ等	2 健康でしあわせに暮らすまち		職名	室長
施策項目	(1)保健・医療の充実		氏名	藤田 隆
			TEL	72-7012

【3 成果指標】

	指標の名称	単位	H17実績値	H23目標値			
指標1	生活習慣病予防健診等健康診査を定期的(年1回)に受けている人の割合(40歳以上)	%	41.1	↗			
指標2	乳幼児健康診査に満足している保護者の割合	%	66.9	80.0			
指標3	朝食を欠食する人の割合(20代から30代)	%	25	15以下			
指標4							
	H18実績値	H19実績値	H20実績値	H21実績値	H22実績値	H23目標値に 対する達成状況	H17実績値 との比較
指標1	41.1	44.0	39.1	39.7	44.3	○	○
指標2			67.9	75.6	75.0	×	○
指標3		18	15.2	19.2	10.7	○	○
指標4							

○到達、×未達 ○向上、×低下

【6 行政評価委員会意見】 (事務局案)

(1)現状の課題認識に関する意見

- ・【指標1】「生活習慣病予防健診等健康診査を定期的に受けている人の割合」は、受診率自体はまだ低い状況ですが、改善は図られており、その取り組みについて評価します。
- ・【指標2】「乳幼児健康診査に満足している保護者の割合」について、「満足していない」とする多くの理由は「待ち時間」の問題であることから、本来の目的である健診内容についての評価とは一致しません。これを踏まえ、指標もしくはアンケートの内容の見直しを求められます。
- ・【指標3】「朝食を欠食する人の割合」については改善されていますが、本施策の成果を測る指標としては適切とは言えません。見直しの検討が必要です。

(2)今後の方向性に関する意見

- ・特定健診の受診率の低さの要素の一つに地域特性が考えられます。今後は市内の地域別の受診率の把握を行い、状況に応じてその対策を検討すべきです。
- ・各種健診の受診率向上には、「受診しない」理由の把握も必要です。アンケート等によりその把握に努め、引き続き受診しやすい環境づくりを進めてください。

(3)施策等に関する評価意見

- ・各種指標の見直しにあたっては、全道平均との対比が必要と考えます。
- ・戦略計画の見直しにあたっては、「ヘルスプロモーション」の取り組みについて、追記を検討してください。
- ・ひきこもり対策については、庁内連携を図り、総合的な相談体制の充実に努めてください。
また、戦略計画の見直しにあたって、ひきこもり対策を含めた「こころの健康づくり対策」の方向性を盛り込んでください。
- ・救急体制については、引続き、札幌圏の医療機関との連携を図る必要があります。

【事業に関する指摘事項】

●こころの健康推進事業

- ・ゲートキーパーの養成について、現状では、民生委員、介護専門員等を主に進めていますが、今後は、広く人材の発掘、育成に努める必要があります。

●地域健康づくり支援事業

- ・キーパーソンの育成には、地域の協力が必要ですが、ボランティア、OB・OGなどの活用も含め、引き続き人材の発掘に努めてください。

平成23年度施策評価シート

第4期石狩市総合計画(戦略計画)における位置付け		1次 評価者 (当該施策 を担当する 部長)	所属	保健福祉部健康推進室
めざすまちのテーマ等	2 健康でしあわせに暮らすまち		職名	室長
施策項目	(1)保健・医療の充実		氏名	藤田 隆
			TEL	72-7012

委員長メモ

【6 行政評価委員会意見】

(1)現状の課題認識に関する意見

- ・【指標1】「生活習慣病予防健診等健康診査を定期的(年1回)に受けている人の割合」について、特定健診の受診率は低い状況にあるが、生活習慣病予防健診においては、向上しており、受診率向上に向けた取り組みを評価します。
- ・【指標2】「乳幼児健康診査に満足している保護者の割合」については、目標を達成していない。今後はアンケート内容の見直し、指標の見直しを検討することが必要です。
- ・【指標3】「朝食を欠食する人の割合」について、何故、本指標を掲げているのかが不明。戦略計画の見直しにあたっては、指標の見直しを検討することが必要です。

(2)今後の方向性に関する意見

- ・特定健診に見られる受診率の低下では、要因の一つとして地域特性もあるのではないかと。
- ・指標の見直しにあたっては、全道平均との対比も必要と考えます。
- ・各種健診の受診率向上に向けた取り組みとして、「何故、受診しないのか」という理由をアンケート等で把握し、引続き受診しやすい環境づくりに努めてください。

(3)施策等に関する評価意見

- ・戦略計画の見直しにあたっては、「ヘルスプロモーション」の取り組みについて、追記してください。
- ・ひきこもり対策について、庁内連携を図り、総合的な相談体制の充実に向けた検討を行ってください。
- ・ゲートキーパーの適用について、現状では民生委員、看護専門員等を主に進めていますが、今後は、市民カウンセラーの養成など、人材の発掘、育成の検討を進めてください。
- ・現状の課題として、市内医療機関の高齢化という問題もあり、救急体制については、引続き、札幌圏の医療機関との連携を図ってください。
- ・地域の健康づくりについて、キーパーソン養成、育成を行うとともに、ボランティア、OB・OGの活用により、人材の発掘に努めてください。
- ・成人期の健康状態のチェックについて、予防や普及活動の強化を図ってください。

平成23年度施策評価シート

第4期石狩市総合計画(戦略計画)における位置付け		1次 評価者 (当該施策 を担当する 部長)	所属	企画経済部
めざすまちのテーマ等	3 元気で活力あるまち		職名	部長
施策項目	(4)観光の振興		氏名	佐々木 隆哉
			TEL	72-3163

【3 成果指標】

	指標の名称					単位	H17実績値	H23目標値
指標1	観光入込客数					万人	173	↗
指標2	石狩市ホームページアクセス数(観光部門)					千人	83	↗
指標3								
指標4								
	H18実績値	H19実績値	H20実績値	H21実績値	H22実績値	H23目標値に 対する達成状況		H17実績値 との比較
指標1	173	155	200	189	172	×		×
指標2	120	224	285	315	344	○		○
指標3								
指標4								

○到達、×未達 ○向上、×低下

【6 行政評価委員会意見】 (事務局案)

(1)現状の課題認識に関する意見
<ul style="list-style-type: none"> ・【指標1】「観光入込客数」については、その大半が海水浴客に依存しています。観光の目的は市の魅力づくりであると同時に、経済振興の要素も強いことから、それら効果を推し量るための指標の設定についても検討が必要です。【指標2】「石狩市ホームページアクセス数(観光部門)」については、その数が着実に伸びており、ホームページでの工夫も見られることから、その努力を評価します。 ・施策体系「観光資源の活用・整備・宣伝」について、ハード部門の取り組みは進んでいますが、ソフト事業について、観光事業者のより積極的な事業展開が図られるよう継続的な工夫が必要です。
(2)今後の方向性に関する意見
<ul style="list-style-type: none"> ・施策体系「③受け入れ体制の整備」におけるホスピタリティ(もてなしの心)の育成は、継続的な取り組みが不可欠です。今後においても具体的な計画のもとで取り組む必要があります。 ・地域の資源に対する市民理解を深めることが結果として市外への効果的なPRにつながる要素もあることから、市外への情報発信に加え、市民に向けた情報提供にも工夫が必要です。
(3)施策等に関する評価意見
<ul style="list-style-type: none"> ・地場製品の販売で人気の「とれのさと」などを活用し、新たな特産品の開発など、1次産業と観光を目に見える形でわかり易く融合させる取り組みを期待しています。 ・鮭醤油らーめんや石狩鍋復活プロジェクトなど、観光に関連する市内関係者や大学等の教育機関が協働して取り組める仕掛けを継続的に実施してください。 ・合併後の旧石狩地区、厚田地区、浜益地区それぞれの特性を活かした観光事業を、引き続き積極的に取り組んでください。

平成23年度施策評価シート

第4期石狩市総合計画(戦略計画)における位置付け		1次 評価者 (当該施策 を担当する 部長)	所属	企画経済部
めざすまちのテーマ等	3 元気で活力あるまち		職名	部長
施策項目	(4)観光の振興		氏名	佐々木 隆哉
			TEL	72-3163

委員長メモ

【6 行政評価委員会意見】

(1)現状の課題認識に関する意見

- ・【指標1】天候に左右されない観光事業を整理し、次年度以降の指標となるよう検討して下さい。
- ・海水浴は、観光の柱に成り得ますか。今後の種々の取り組みに期待します。
- ・【指標2】インターネット効果は評価できる。今後は、観光の盛り上がりの工夫を期待する。
- ・観光資源の活用、整備等の施策について、ハード事業は了承し、ソフト事業「(社)観光協会運営支援事業」については、事業者の事業運用へ啓発事業を高めて下さい。

(2)今後の方向性に関する意見

- ・観光事業の効果的PRについて、検討して下さい。
- ・総合計画【戦略計画】に「滞在型」とあるが、今後は、どう考えるか検討して下さい。
- ・総合計画【戦略計画】施策体系「③受け入れ体制の整備」の中で「ホスピタリティ(もてなしの心)の啓発活動」とあるが、施策に反映できる取り組みを検討して下さい。
- ・施策の目標値が具体的にできるよう努めて下さい。

(3)施策等に関する評価意見

- ・農商工連携により、「とれのさと」に見られる農産品の販売など、1次産業と観光をわかり易く誘導して下さい。
- ・観光に関する関係者(ステークホルダー)との協働の仕掛けを横串に動かして下さい。
- ・合併後の旧石狩地区、厚田地区、浜益地区の特性を活かした観光事業を長期的に明示して下さい。
- ・大学等の教育機関と観光に関する連携に努めて下さい。

平成23年度施策評価シート

第4期石狩市総合計画(戦略計画)における位置付け		1次 評価者 (当該施策 を担当する 部長)	所属	建設水道部
めざすまちのテーマ等	4 豊かな自然を守り育て活かすまち		職名	部長
施策項目	(2)公園・緑地・水辺の整備		氏名	南 治彦
			TEL	0133-72-3136

【3 成果指標】

指標の名称		単位	H17実績値	H23目標値				
指標1	都市計画区域内の一人あたり都市公園面積	m ²	17.0	17.5				
指標2	都市公園箇所数	箇所	133	135				
指標3	花と緑の推進活動に参加したことがある市民の割合	%	53.2	↗				
指標4								
		H18実績値	H19実績値	H20実績値	H21実績値	H22実績値	H23目標値に 対する達成状況	H17実績値 との比較
指標1		18.5	21.9	21.9	21.9	21.9	○	○
指標2		134	135	135	135	135	○	○
指標3		53.2	62.0	63.6	58.8	58.3	○	○
指標4								

○到達、×未達 ○向上、×低下

【6 行政評価委員会意見】 (事務局案)

(1)現状の課題認識に関する意見
<ul style="list-style-type: none"> ・【指標1】「都市計画区域内の一人あたり都市公園面積」及び【指標2】「都市公園箇所数」については、計画通りの整備が進められており、その努力を評価します ・【指標3】「花と緑の推進活動に参加したことがある市民の割合」については、花いっぱい運動や植樹祭などを通して、より多くの市民参加の機会を提供しており、その努力を評価します。
(2)今後の方向性に関する意見
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者向け健康遊具の試験配置や、利用度の低いゲートボール場を廃止して駐車場を整備するなど、時代の変化に対応した取り組みについて評価します。公園の有効利用については、さまざまな利害が混在していますが、引き続き、町内会や子ども会などの意見を聞き、住民ニーズに対応した活用に努めてください。 ・今後の指標設定は、その有効な管理・活用ができているかを測るものも必要です。
(3)施策等に関する評価意見
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化社会、防災、多様化する住民ニーズや機能も含め、今後の公園の在り方について、横断的な検討が必要です。 ・「緑地」、「水辺」の整備について、都市計画マスタープランの観点から、景観施策との整合を図った整理が必要です。 <p>【事業に関する指摘事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●あつたふるさとの森事業 厚田の海と森は、「環境、自然教育、地域振興」などの種々の事業と絡めて、中長期的観点で取り組む必要があります。 ●花いっぱい運動事業 本事業は、市民との協働による緑地整備活動として効果的ですが、その一方で投資コストの増加に歯止めがかからないという課題も併せ持っています。市制施行事業として行った現在の事業形態となる以前は、地域による自主活動だったことも踏まえ、「市民が自ら地域を花でいっぱいにする文化を根付かせる」とする事業の最終目標に近づけるよう、投資のプライオリティーと行政・町内会の役割の在り方を含めたロードマップの検討が必要です。

平成23年度施策評価シート

第4期石狩市総合計画(戦略計画)における位置付け		1次 評価者 (当該施策 を担当する 部長)	所属	建設水道部
めざすまちのテーマ等	4 豊かな自然を守り育て活かすまち		職名	部長
施策項目	(2)公園・緑地・水辺の整備		氏名	南 治彦
			TEL	0133-72-3136

【6 行政評価委員会意見】

委員長メモ

(1)現状の課題認識に関する意見

- ・【指標1】、【指標2】の実績については、評価できる。
- ・【指標3】については、アンケート結果の花いっぱいや植樹祭などを通して、その結果を評価する。

(2)今後の方向性に関する意見

- ・長寿命化と施設更新については、町内会との整合を優先している。
- ・街区公園では、高齢化対策を考慮した遊具の試用や、未活用のゲートボール場を駐車場へ移行するなど評価する。
- ・公園のボール遊びや、要介護者へ配慮した遊具の設置など、年少児、中・高生、高齢者等への有効な公園活用・利用方法を検討してください。
- ①冬期間も考慮した遊具設置 ②経費の使い方 ③街区、近隣公園の活用の仕方 ④利用者(市民)と町内会の在り方 ⑤活用とPR

(3)施策等に関する評価意見

- ・戦略計画の見直しに向けて、
 - ①高齢化社会、防災面、住民ニーズや、機能も含めて具体的な見直しを検討してください。
 - ②都市計画マスタープランの観点から、緑地、水辺について、景観施策との整合を図り、具体的な見直しを検討してください。
- ・「あつたふるさとの森事業」について、厚田の海と森は、公園等の種々の事業と絡めて、「環境、自然教育、地域振興」の観点から、中長期的観点から検討してください。

平成23年度施策評価シート

第4期石狩市総合計画(戦略計画)における位置付け		1次 評価者 (当該施策 を担当する 部長)	所属	建設水道部
めざすまちのテーマ等	4 豊かな自然を守り育て活かすまち		職名	部長
施策項目	(4) 景観づくりの推進		氏名	南 治彦
			TEL	72-3136

【3 成果指標】

		指標の名称					単位	H17実績値	H23目標値
指標1	石狩の自然景観全般に満足している市民の割合					%	43.1	↗	
指標2	石狩のまち並み景観に満足している市民の割合					%	35.9	↗	
指標3									
指標4									
		H18実績値	H19実績値	H20実績値	H21実績値	H22実績値	H23目標値に 対する達成状況	H17実績値 との比較	
指標1		43.1	40.3	43.4	46.4	38.4	×	×	
指標2		35.9	32.5	35.5	34.1	27.7	×	×	
指標3									
指標4									

○到達、×未達 ○向上、×低下

【6 行政評価委員会意見】

(事務局案)

(1) 現状の課題認識に関する意見
<p>・【指標1】「石狩の自然景観全般に満足している市民の割合」及び【指標2】「石狩のまち並み景観に満足している市民の割合」共に目標値を達成していませんが、その原因がどこにあるのかを分析する必要があります。環境系のアンケートでは、不法投棄に対する不満が顕著であることがわかっていますが、その他の要因についてもさまざまな機会を通じて明らかにし、その対応を図っていくことが求められます。</p>
(2) 今後の方向性に関する意見
<p>・「都市マスタープラン」、「環境基本計画」、「水とみどりの基本計画」との整合性を踏まえた対応となるよう留意してください。</p> <p>・良好な景観づくりには、市民との協働による取り組みなどを通して、地域の共通認識を醸成し、景観そのものが地域価値を高めるものとなるような取り組みを期待しています。</p>
(3) 施策等に関する評価意見
<p>・市民、行政との景観に関する意識の醸成について、引き続き、市民ボランティアなどとの協働を進め、今後は、更なるPR強化と、学識経験者などとの連携を図った事業展開が求められます。</p> <p>・自然景観の満足度向上には、具体的な景観名所をPRするなどして市民が景観をイメージし易くなるような工夫も考えるべきではないでしょうか。</p> <p>・本市の景観形成は、北海道景観計画の基準を活用して進められていることから、道の関連施策の市民への周知も必要です。</p> <p>【事業に関する指摘事項】</p> <p>●屋外広告物簡易除却事務</p> <p>・広告物の減少も顕著であり、その取り組みを評価します。今後も継続して取り組むことで、違反広告物の減少、設置者のモラル向上に繋がることを期待します。</p>

平成23年度施策評価シート

第4期石狩市総合計画(戦略計画)における位置付け		1次 評価者 (当該施策 を担当する 部長)	所属	建設水道部
めざすまちのテーマ等	4 豊かな自然を守り育て活かすまち		職名	部長
施策項目	(4) 景観づくりの推進		氏名	南 治彦
			TEL	72-3136

【6 行政評価委員会意見】

委員長メモ

(1) 現状の課題認識に関する意見
<p>・【指標1】「石狩の自然景観全般に満足している市民の割合」及び【指標2】「石狩のまち並み景観に満足している市民の割合」について、共に目標値を達成していませんが、アンケートが漠然過ぎて、具体的に明確化されていません。但し、景観に対する市民の捉え方として、不法投棄への懸念が起因していると考えられます。</p> <p>・今後は景観名所などのPRを強化してください。</p> <p>・戦略計画の見直しにあたっては、アンケート内容を再考してください。</p>
(2) 今後の方向性に関する意見
<p>・戦略計画の見直しにあたっては、「都市マスタープラン」、「環境基本計画」、「水とみどりの基本計画」との整合を図ること、市民との協働による取り組みを推進していくなど、景観が地域価値を高めるものとして、再検討してください。</p>
(3) 施策等に関する評価意見
<p>①「屋外広告物簡易除却事務」について、成果を評価する。(北海道からの権限移譲事務) 今後の継続性に期待する。</p> <p>②市民、行政との景観に関する認識について、現状の取り組みとして、市民ボランティアなどの活用がされている。今後は、PR強化を含め、市民や学識経験者などとの連携を図って展開してください。</p> <p>③景観ガイドラインの策定については、北海道へ提出している「観光ビューポイント図表」を作成している。所管として、景観ガイドラインを策定する考えはない。</p> <p style="border: 2px solid red; padding: 5px;">④「花いっぱい運動事業」の最終点は、「市民が自己の地域に花いっぱい運動を地域文化として根付かせる」花いっぱい運動をまちづくりとして、その必要性や位置を検討し、投資するプライオリティーなど、行政と町内会の役割を含めてロードマップとして検討してください。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 10px; margin-top: 10px; background-color: #ffe6e6;"> <p>所管としては、「花いっぱい運動事業」の主たる施策は「公園・緑地・水辺の整備」という考えということと、「公園・緑地・水辺の整備」の施策体系の中で、事業名が掲載されていることから、「公園・緑地・水辺の整備」の評価意見として掲載させていただきました。</p> </div>

平成23年度施策評価シート

第4期石狩市総合計画(戦略計画)における位置付け		1次 評価者 (当該施策 を担当する 部長)	所属	保健福祉部こども室
めざすまちのテーマ等	5 心豊かに学びいきいきと活動するまち		職名	こども室長
施策項目	(3) 青少年の健全育成		氏名	沢田 茂明
			TEL	72-3693

【3 成果指標】

	指標の名称					単位	H17実績値	H23目標値
指標1	子ども会におけるリーダーの登録数					人	6	50
指標2	児童の権利に関する条約を認知している市民の割合					%	11.3	20
指標3								
指標4								
	H18実績値	H19実績値	H20実績値	H21実績値	H22実績値	H23目標値に 対する達成状況		H17実績値 との比較
指標1	14	31	52	81	102	○		○
指標2	11.3	10.6	12	11.2	11.7	×		○
指標3								
指標4								

○到達、×未達 ○向上、×低下

【6 行政評価委員会意見】 (事務局案)

(1) 現状の課題認識に関する意見

- ・【指標1】「子ども会におけるリーダーの登録数」について、登録数は20名単位で伸びており、その努力を評価しますが、登録後のフォローアップがどのようになっているかが明確ではありません。その有効活用を図るための具体策が求められます。
- ・【指標2】「児童の権利に関する条約を認知している市民の割合」については、目標値の達成は厳しいと思われます。条約の精神を実現するための事業展開の効果を測るための新たな指標の設定が求められます。

(2) 今後の方向性に関する意見

- ・各種リーダーの養成・活用については、地域間で格差が生じないよう、地域の実態を踏まえた工夫が求められます。
- ・各種青少年育成事業の活性化には、町内会や他のまちとの交流事業など、市が率先して具体的なメニューを示していく必要があります。

- ・町内会や関係団体において、リーダーの積極活用が図られるよう、情報提供の手法を検討する必要があります。
- ・ひきこもり対策については、アンケートや、ネット相談を契機に更なる具体的な事業展開が求められます。また、戦略計画の見直しにあたっては、「保健・医療の充実」に関連する事業との連携について、具体的に示すようにしてください。

【事業に関する指摘事項】

- 次世代育成事業 ●地域プレーリーダー事業 (2事業共通)
 - ・ジュニアリーダーからプレーリーダーへの移行が上手く図られるよう、養成事業のPRを強化するとともに、リーダーの活用の場をガイドする具体的提案が必要です。
- 子どもの健全育成事業交付金業務
 - ・各団体で取り組まれている種々の活動内容の情報交換などにより、それぞれの活動のマンネリ化を防ぎ、活性化させる工夫が必要です。また、それぞれの事業を適宜評価のうえ、必要に応じて、事業の統合・廃止・見直しなどを検討してください。
- 子どもの権利啓発プログラム事業
 - ・保護者に対して事業趣旨の理解を広めるため、地域単位で保護者の参加を促す方法を検討するなど、保護者を対象とした取り組みを強化する必要があります。

平成23年度施策評価シート

第4期石狩市総合計画(戦略計画)における位置付け		1次 評価者 (当該施策 を担当する 部長)	所属	保健福祉部こども室
めざすまちのテーマ等	5 心豊かに学びいきいきと活動するまち		職名	こども室長
施策項目	(3) 青少年の健全育成		氏名	沢田 茂明
			TEL	72-3693

委員長メモ

【6 行政評価委員会意見】

(1) 現状の課題認識に関する意見
<ul style="list-style-type: none"> ・【指標1】「子ども会におけるリーダーの登録数」について、登録数は20名単位で伸びており、評価する。リーダー認定後のフォローアップを検討して下さい。 ・【指標2】「児童の権利に関する条約を認知している市民の割合」については、目標値20%の達成は厳しいと思われる。戦略計画の見直しで、実績の把握方法等について、検討して下さい。現在、中・高生となった、既リーダー修了生へのフォローアップが必要である。
(2) 今後の方向性に関する意見
<ul style="list-style-type: none"> ・リーダー育成に関する事業については、地域格差の解消を検討して下さい。 ・青少年育成に関する事業は、町内会交流や他のまちとの交流事業など、行政からのメニュー出しが必要です。 ・メニュー出しにあたっては、育成講座などのメニュー事例の紹介も必要です。 ・他の所管事業との共通施策として連携して取り組む必要があります。
(3) 施策等に関する評価意見
<ul style="list-style-type: none"> ・CAP事業の取り組みについて、親がCAP事業の主旨を知らないことから、地域単位で保護者の参加を促す方法を検討するなど、保護者を対象とした取り組みを強化して下さい。 ・ジュニアリーダー育成、プレーリーダー養成のPRを上手に努めて下さい。 ・子ども会の運営を町内会が上手に支援できることを期待する。 ・リーダー育成後の活用をガイドする提案をして下さい。 ・行政から連合町内会及び市民団体等に知らせて、運営を推進することを検討して下さい。 ・プレーリーダー養成については、フォローアップも含めて、若手リーダーの育成を継続して下さい。 ・ひきこもり対策については、アンケートや、ネット相談を契機に更なる具体的事業の継続を推進して下さい。 ・市は、「こども・あいプラン」から、それ以降の年代層への具体的対応の推進して下さい。 ・戦略計画の見直しでは、「保健・医療の充実」に関連する事業との連携について、具体的に触れて下さい。 ・【指標2】の切り口を具体的方策で、確認できるように検討して下さい。 ・「子どもの健全育成事業交付金業務」において、種々の活動の実態を知らせる必要があることと、現在の交付金対象事業の見直しなど、マンネリ化した状況から打破する方策について、検討して下さい。

(イメージ案)

平成23年度 石狩市行政評価報告書

平成23年8月

石狩市行政評価委員会

1. 今年度の行政評価について

石狩市の行政評価制度は、日々の行政活動の成果について、数値等を用いながら客観的に評価するシステムであり、「施策評価」と「事業評価」の2つについて実施している。

「施策評価」の「施策」とは政策を実現するための個々の方策を示すもので、総合計画・戦略計画（前期）に定められた40の施策がこれにあたる。

石狩市行政評価委員会（以下「委員会」）の役割は、この「施策評価」の客観性及び透明性を確保するために、有識者及び市民による外部の視点で評価を行うことである。

評価の実施にあたっては、過去4年間で作成した評価基準に基づき、40ある施策のうち過去に実施した施策を除いたものの中から7施策を選定し評価を行った。

限られた時間内で、評価精度の向上を図るため、前段の担当課長ヒアリングにおいて施策・事業の概要を把握するとともに、その段階で委員各自の視点で評価シートを作成し、それらを基に意見交換を行うことで、後段の担当部長に対するヒアリングポイントについての意識共有を図った。また、これらについて事前に整理して担当部局に明示することで、ヒアリング時の効率的な説明と意見交換が可能となるよう努めた。

※ヒアリング・施策全般に関する感想【シート・説明内容・事業実施の観点等】

委員の皆さんのご意見を集約

また、今年度評価した施策は、たとえば「情報通信網の整備」や「保健・医療の充実」など、他の施策との連携を意識した取り組みが求められるものも多かったが、そうした意識を持って取り組んでいるかどうかについて疑問に感じられる場面も見られた。

今年度は、総合計画戦略計画の見直し年次でもあり、費用対効果や施策に対する貢献度から改めて事業の必要性や手法を検証し、適切な目標設定のもと、社会情勢の変化や市民ニーズを的確に反映した見直しが求められる。

地方財政の好転が見込めない状況で、いかに的確に政策課題を把握し、成果が見込まれる事業に経営資源を絞り込んでいくか、市役所総力を挙げた取り組みを期待したい。

2. 施策評価の対象

本年度は、平成22年度に実施した施策体系の中から次の7施策を評価対象とした。

<対象施策>

施策名	事業数	施策担当部（室）
公共交通環境の充実	6	市民生活部
情報通信網の整備	2	総務部
保健・医療の充実	14	健康推進室
観光の振興	6	企画経済部
公園・緑地・水辺の整備	8	
景観づくりの推進	3	建設水道部
青少年の健全育成	7	こども室

3. 評価経過について

行政評価委員会は、勉強会として位置づけた第2回から第5回の評価委員会の中で、担当課長が作成した事業評価シートに基づき、施策に関連する事業の内容について把握し、第6回の評価委員会において、担当部（室）長とのヒアリングに向けた、課題や評価ポイントの共有を図るための評価委員会意見案の検討を行った。

第7回から第12回の評価委員会の中では、担当部長から施策評価の内容及び関連する個別事業に対する考え方について、ヒアリングを実施した。その後、ヒアリング結果を踏まえ、改めて全体協議を行ったうえで評価結果をまとめた。

<活動経過>

4月15日(金)	第1回行政評価委員会	・評価対象施策の選定
5月26日(木)	第2回行政評価委員会 (勉強会①)	・市民生活課、企画課、情報推進課、 厚田支所地域振興課所管
6月 3日(金)	第3回行政評価委員会 (勉強会②)	・建)管理課、建築課、都市整備課、 魚つきの森プロジェクト担当所管
6月 7日(火)	第4回行政評価委員会 (勉強会③)	・商工労働観光課、地域包括支援センター、 子育て支援課所管
6月 9日(木)	第5回行政評価委員会 (勉強会④)	・保健推進課、国民健康保険課所管
7月 1日(金)	第6回行政評価委員会	・行政評価委員会意見の検討
7月 7日(木)	第7回行政評価委員会	・ヒアリング「情報通信網の整備」
7月13日(水)	第8回行政評価委員会	・ヒアリング「観光の振興」
7月15日(金)	第9回行政評価委員会	・ヒアリング「青少年の健全育成」
7月21日(木)	第10回行政評価委員会	・ヒアリング「公園・緑地・水辺の整備」 「景観づくりの推進」
7月26日(火)	第11回行政評価委員会	・ヒアリング「保健・医療の充実」
7月27日(水)	第12回行政評価委員会	・ヒアリング「公共交通環境の充実」
8月 3日(水)	第13回行政評価委員会	・施策評価についての協議
8月18日(金)	第14回行政評価委員会	・評価報告書(案)について
8月 日()	第15回行政評価委員会	・評価報告書(最終案)について

4. 施策評価の視点

行政評価は、行政が自ら施策や事業の評価を行い、その結果を見直しや改善につなげていくためのものである。しかし施策や事業の最大のステークホルダー（利害関係者）は市民であることから、行政評価委員会は行政の内部評価に対して、外部委員会として、時代やニーズの変化を捉え、市民目線を意識した評価を行うこととした。

なお、評価にあたっての視点は次の通りとしたほか、施策効果を計る重要なポイントである成果指標の妥当性についても検討した。

【施策の現状把握と今後の方向性】

- 現状の課題認識に関する意見
 - ・ 施策の目標は達成されているか
 - ・ 施策を実施していく上での課題を的確に捉えているか
- 施策を取りまく状況の変化
 - ・ 第4期石狩市総合計画（戦略計画）の策定以降、社会情勢や、行政への期待など、時代の変化を捉えた施策の取り組みとなっているか
- 今後の取り組み方針
 - ・ 現状の課題を踏まえた、取り組み方針となっているか

【施策を実現するための手段（事業の必要性等）】

- 施策が目指す目標に対して
 - ・ 施策と事業が目的と手段の関係になっているか
 - ・ 関連事業は本当に有効な事業か
 - ・ 費用対効果や、施策に対する貢献度から見て、本当に必要な事業といえるか
 - ・ 時代やニーズの変化により、事業の必要性が薄れていないか
 - ・ 成果や効果が十分でているか
 - ・ 類似の事業と連携して効率的に執行できないか
 - ・ 施策の成果を向上させる取り組みとして不足しているものはないか

【成果指標の妥当性】

- 施策効果を計る指標として
 - ・ 指標として適切なものか
 - ・ 新たな目標値の設定が必要ではないか

5. 施策評価（総括）

評価委員会は個別の施策評価を行ったが、ヒアリングや評価の過程での議論や意見の中で、個々の施策に共通している課題について、総括意見として取りまとめる。

（1）事業の実施について

- ① 昔から継続実施しているという理由で、漫然と続けるのではなく、「今求められていることは何かを見極め、事業を実施すること。
- ② 国の特定財源を見込んだ事業については、国の考え方に左右され、市の実情に即した事業展開が難しいが、緊急性に乏しい事業については廃止を含めた選択の自由度を国に対し求めていくこと。
- ③ 「連携」して取り組む事業が多くみられるが、集まったことで連携している気になっている事業が見受けられる。より実態の伴った「連携」となるよう緊張感を持って事業を推進すること。

（2）指標の設定について

- ① 事業の成果を押し量る上で有効な成果指標の設定に努めること。
- ② 指標の目標値を設定しないということは適切な評価が困難であるばかりか結果的には漫然とした事業継続にもつながる。指標の設定理由を今一度検証し、明確な目標を設定のうえ事業を実施すること。
- ③ 一般市民が実感しやすく、時系列で把握しやすい成果指標を設定すること。

（3）取り組み姿勢について

- ① 評価シートの作成は、自らの業務を一般市民に対し説明する責任を全うすることであることを認識し、誰もがわかり易い明解な表現を心がけること。
- ② 限られた財源の中で成果向上を図るため、常に改革・改善を意識し取り組むこと。
- ③ 費用対効果や施策に対する貢献度から必要な事業を判断し、施策全体の成果向上を図るよう、経営資源の集中化に取り組むこと。

石狩市行政評価委員会

委員長 松井 義孝
副委員長 長谷部 清
委員 岩崎 雄三
委員 堀内 秀和
委員 堀 弘子